

# 令和5年4月 第8期繁殖技術研修生募集要項

- 対象者：将来、酪農家または和牛繁殖農家の仕事に従事するために牛の人工授精および受精卵移植等の繁殖に関する知識・技能を学ぼうと志す方（高校・大学卒業後で20代まで）で、心身健康で高校卒業以上の学歴を有する者、普通自動車免許を有し、マイカーでの通勤ができること
- 研修期間：令和5年4月1日から  
受精卵移植師（ET師）コース（2名）：原則3年間
- 研修場所：全国農業協同組合連合会（JA全農）畜産生産部 ET研究所（北海道）  
受精卵移植師（ET師）コースについては、3年目にET研究所の分場（岩手・茨城・福岡）で研修をする場合があります。
- 研修内容：（場内施設：黒毛和牛約500頭、乳牛未経産牛約1000頭）  
（農家庭先ET：4000頭以上、農家庭先採卵：1000頭以上）
  - \*実践研修・・・発情観察、人工授精・受精卵移植補助業務、牛の健康観察、不妊牛治療の助手等、採卵業務助手、  
精液・受精卵の顕微鏡下での観察・農家庭先でのETや採卵業務助手など  
繁殖管理台帳等の管理  
試験牛を用いたAIやET実習
  - \*座学研修・・・上記に関連する基礎知識・最新技術の習得に関する研修（月に最低1回実施）
  - \*資格取得・・・本人の希望により、外部の学校等の講習において、人工授精師・受精卵移植師などの資格受験が可能  
（ただし、コロナ禍の影響により、研修期間内に受験ができない場合もあります。）  
資格取得のための講習経費は自己負担、講習参加の出張費用は当方負担
- 研修日課：原則実働7.5時間（採卵日等で早出の日（時間外手当付与）もあります。）  
午前 8時30分-12時00分  
午後 13時00分-17時00分
- 休暇・休日：  
土曜日・日曜日・祝日、年末年始、（業務都合により休日出勤もあります。）  
有給休暇（6か月以上継続して雇用し、かつ所定就業日の8割以上出勤したときは、年次有給休暇を与える。以降、労働基準法の定めるところにより付与する。）  
特別休暇（臨時（短期、再雇用）・パート（短期、再雇用）就業規則に準じる）
- 給与体系：  
身分は臨時職員として、月額13.5万円程度を支給します（通勤費別途支給）。  
健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険に加入。  
宿泊施設（アパート等）はこちらで手配します。（住宅料として月1万円程度を徴収します。）食事は各自の自炊となります。
- 選考方法・時期：  
AI師又はET師コースを明記の上、別紙履歴書<sup>\*</sup>を添えて下記宛先までご応募下さい。  
応募〆切りは、令和4年8月31日(水)です。  
選考は書類選考・作文・面接等、令和4年9月16日（金）以降を予定しています。

**【お問い合わせ先】**

〒080-1407 北海道河東郡上士幌町字上音更西 6 線 331-11

全国農業協同組合連合会（JA 全農）畜産生産部 ET 研究所 管理課

☎: 01564-2-5811、email: [zz\\_zk\\_etc\\_kamishihoro@zennoh.or.jp](mailto:zz_zk_etc_kamishihoro@zennoh.or.jp)

※履歴書はホームページ (<https://www.zennoh.or.jp/et/>) からダウンロードできます。

## 繁殖技術研修生カリキュラム 第8期生

対 象	目 的	研 修 内 容	時 期	備 考
各コース共通	日本の畜産の現状を理解する 牛の健康観察・発情発見の重要性を認識する 人工授精ならびに受精卵の製造や受精卵移植作業工程を理解する	オリエンテーション（全農ET研究所(以下、ET研)の事業・研究紹介)	4月初旬	
		採卵・受精・移植等の準備作業習得	上期	
		採卵・受精補助等	上期	
		牛の取り扱いと発情発見の実務実習 健康観察管理実習	通年	
各コース共通	一般的な牛の繁殖技術の基礎を習得していく	直腸検査による生殖器の触診実習	通年	
		人工授精時の衛生指導と廃用牛を用いた子宮頸管穿通実習	上期	
		人工授精の準備 凍結精液の融解と精子活力検査実習	免許取得後	
		繁殖管理台帳のパソコン管理実習	下期	
		繁殖に関する専門的講義	毎月	
		農家の視察と農家での移植・採卵補助・繁殖検診補助	通年	
各コース共通	ET研だからこそ学べる先端技術をより深く理解し、自分のものとして習得していく	人工授精師免許の取得（基本的に初年度取得、道内を予定）	7月	
		人工授精実習と実務	免許取得後	
		検卵および受精卵の凍結補助および受精卵融解法実習	免許取得後	
		発情同期化法の実習（超音波装置による卵巢・子宮観察の習得）および不妊牛対処法	通年	
		人工授精師研究発表会等へ参加し最新情報の取得と先輩授精師との交流	免許取得後	
E T師コース	受精卵移植技術の習得と生殖発生学の理解を深めるとともに一般的な受胎率の出せる技術者に成長していく	受精卵移植師免許の取得（基本的に2年目取得、全国各地の講習会に参加）		2年目以降
		受精卵検卵・移植の実習と実務	免許取得後	
E T師コース	高度かつ実践的な受精卵移植技術者に成長する	発情同期化・人工授精・受精卵移植・検卵実務およびデータ管理の総まとめ等	通年	2年目以降
		分場に配属し、農家の移植等現場実務の実践	通年	

